

令和7年度 第3回運営推進会議



(地域密着型) 特別養護老人ホーム桜ホーム西神
(認知症対応型通所介護) デイサービスセンターさくらさく

令和 7年 8月 21日 (木)

法人の理念

1. 公益的事業の積極的取り組み
2. 人権を擁護する
3. 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
4. 医療・教育・福祉の連携強化
5. 地域社会との共生



目次

1. あいさつ

2. 事業運営に係るご報告

●特別養護老人ホーム櫻ホーム西神

- ①特別養護老人ホーム 稼働率
- ②ご入居者の概要（入居申し込み状況）
- ③入院者の状況
- ④職員の動向
- ⑤事故・苦情の発生状況と詳細（6月・7月）
- ⑥イベント内容報告
- ⑦研修・委員会活動

3. その他（質疑応答）

4. 今後の開催予定

●デイサービスセンターさくらさく

- ①利用状況
- ②ご利用者の概要
- ③稼働率
- ④事故の発生・苦情状況と詳細
- ⑤イベントと活動内容報告
- ⑥認知症カフェの開催・地域活動



2. 事業所運営に係るご報告

令和7年度の稼働率目標

- ①ユニット型：97.5%
- ②多床室：95.0%
- ③SS合算：98.0%

① 稼働率（7月31日時点）

● 令和7年度（特養目標稼働率98.0%）

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養（個室ユニット型）	95.54%	97.90%	97.38%	95.44%									96.57%
地域密着型特養（多床室）	100.00%	100.00%	96.00%	99.19%									98.80%
櫻ホーム西神（合算）	97.10%	98.42%	97.23%	96.23%									97.25%
櫻ホーム西神（SS含む合算）	97.60%	99.10%	98.28%	97.94%									98.23%

● 空床ショートステイ（利用率目標40%）

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
空室日数(室)	108	52	63	113									336
ご利用日数(日)	15	21	32	53									121
利用率	13.89%	40.38%	50.79%	46.90%									36.01%

② ご入居者の概要 (7月31日時点)

ユニット型：定員80名

実施機関	性別		合計
	男	女	
神戸市	12	40	52
明石市	2	2	4
西宮市	1	0	1
加古川市	0	1	1
尼崎市	1	0	1
大阪市	0	0	0
四国中央市	0	0	0
三木市	5	13	18
その他	0	1	1
合計	21	57	78

地域密着型（多床室）：定員20名

実施機関	性別		合計
	男	女	
神戸市	12	8	20
小計	12	8	20
特別な事由による入所	0	0	0
合計	12	8	20

要介護度別利用者状況 (7月31日時点)

ユニット型 (個室)

要介護度	総数	旧措置者
変更申請中	0	0
1	2	0
2	0	0
3	24	0
4	35	0
5	17	0
計	78	0
平均要介護度	3.83	
平均年齢	87.8歳	

地域密着型 (多床室)

要介護度	総数	旧措置者
変更申請中	0	0
1	1	0
2	0	0
3	8	0
4	11	0
5	0	0
計	20	0
平均要介護度	3.50	
平均年齢	85.4歳	

入居申し込み状況（7月31日時点）

	事業所	男性	女性	合計人数
待機者数（人）	ユニット	2	6	8
	多床室	1	4	5
平均要介護 （待機者）	ユニット	3.9		
	多床室	4.0		
平均年齢(歳) （待機者）	ユニット	82.2		
	多床室	79.4		

③ (入院者) 状況 (7月31日時点)

月	ユニット	入院理由	入院期間		入院日数	入居時の 入院リスク	備考
			開始日	終了日			
6月	バラ	電解質異常	6月4日	6月25日	21	あり	退院
	ハス	低アルブミン血症	6月9日	7月7日	28	×	退院
	サザンカ	誤嚥性肺炎	6月21日	7月24日	33	×	退院
	ウメ	蜂窩織炎	6月23日	7月7日	14	×	退院
7月	ヒマワリ	大腿骨頸部骨折	7月2日	8月1日退院予定		×	退院
	ウメ	胆のう炎	7月15日	7月29日	14	×	退院
	ハス	心不全	7月26日	8月2日退院予定		×	退去

対策について

(誤嚥性肺炎予防・尿路感染予防・ウイルス感染症予防・転倒予防対応策)

1) 誤嚥性肺炎予防

- ・往診歯科医師、歯科衛生士と連携し、嚥下状態を確認し、助言をいただく
- ・食事中の傾眠による誤嚥防止のため、精神科薬を服用している入居者・利用者を医務でリストアップし、介護職へ情報共有することで誤嚥防止を図る

2) 尿路感染予防

- ・身体の清潔保持を徹底する（陰部洗浄についての研修 5月・6月に受講）
- ・1200ml/日を目標に水分補給を促す（各ユニットで取組中）

3) ウイルス感染症予防

- ・7月～8月、12月～1月がコロナ蔓延傾向にあるため、感染症対策の意識を高め、感染対策を徹底できるように取組む。

4) 転倒予防対応策

- ・事故対策を多職種で検討・評価し、職員へ周知する（事故後5日以内にカンファレンス）

入院予防対策

・水分摂取量について (ml)

ユニット/月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
ウメ	902	963	924	951	945	924
モモ	873	823	892	1,045	1,028	955
アジサイ	1,198	1,218	1,208	1,299	1,309	1,263
バラ	905	906	1,027	1,218	1,187	1,330
ハス	867	873	902	999	1,031	1,092
ヒマワリ	785	741	971	1,103	1,069	1,077
ダリア	896	882	986	1,045	1,031	996
サザンカ	950	879	968	1,045	946	854
サクラ	900	982	1,028	1,040	1,015	975
施設全体	919	918	989	1,082	1,062	1,051

入院対策の一つとして水分摂取量（目標：ユニット平均1200ml）を意識

<取組み内容>

- 10時（リビングで過ごされている方）または、すき間時間に提供（おやつ前少し早めに離床し提供）
- 食事前の水分提供を行うことにより、食事中に2杯目提供につながっている。
- 介護ソフトに正しく記録ができていなかったケースがあった。記録の入力忘れがないよう再度周知を図った。
- 場所を変えての提供。（4階多目的室に散歩、ダリア三木防災公園など）
- 提供している飲み物の種類を追加した（緑茶・ピーチティー）
- イオンゼリーの提供見直し（提供する時にゼリーを潰しすぎないようにして提供）

<食事時での工夫>

- 水分の摂取が進まない方について、定期で訪問されている歯科医師に確認していただき助言・指導をいただく。
- 姿勢が崩れていないか足底がついているかなど確認を行う。

<環境面>

- 朝食前（離床前）にカーテンを開け、朝食時に少しでも覚醒して召し上がって頂けるようにする（朝日を浴びて覚醒を促すため）

④ 職員の動向

退職者（人）

		6月	7月
介護	正規職員	1	0
	パート職員	0	0
看護	正規職員	0	0
	パート職員	0	0
厨房	正規職員	0	0
	パート職員	0	0
事務所	正規職員	0	0
	パート職員	0	0

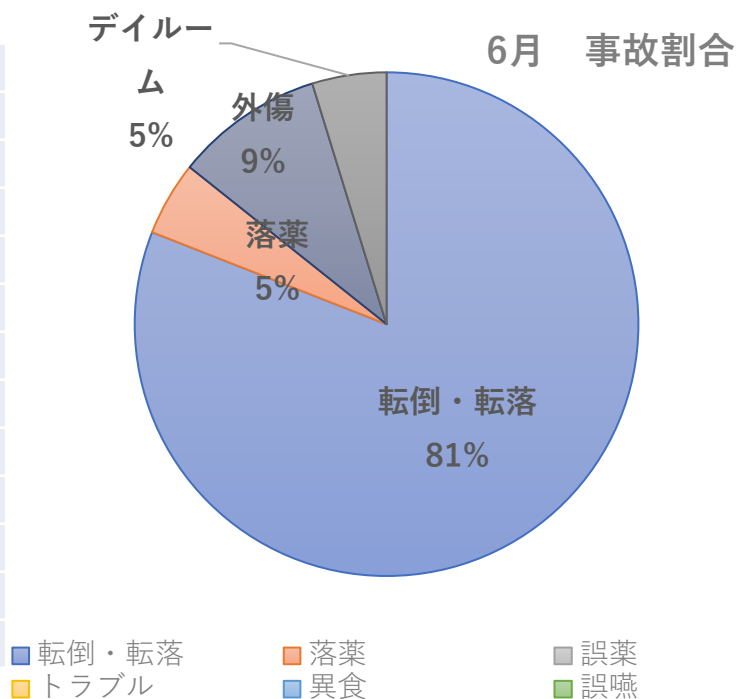
入職者（人）

		6月	7月	8月
介護	正規職員	2	0	0
	パート職員	0	1	2
看護	正規職員	0	0	0
	パート職員	0	0	0
厨房	正規職員	0	0	0
	パート職員	0	0	0
事務所	正規職員	0	0	0
	パート職員	0	0	0

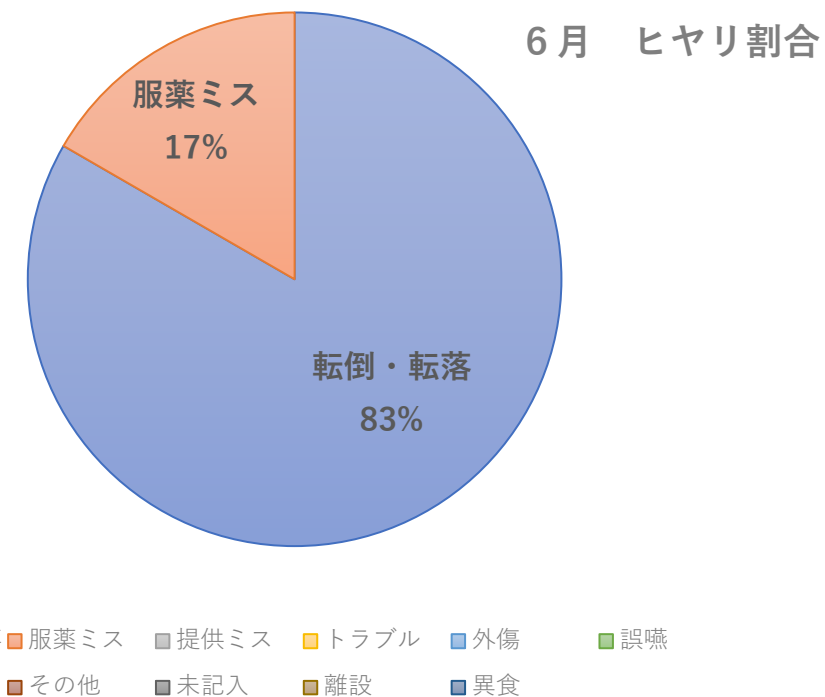


⑤ 事故発生・苦情状況と詳細 (6月)

事故割合	
内容	件数
転倒・転落	17
落薬	1
誤薬	
トラブル	
異食	
誤嚥	
外傷	2
器物・物品破損	
デイルーム	1
合計	21



ヒヤリ割合	
内容	件数
転倒・転落	10
服薬ミス	2
提供ミス	
トラブル	
外傷	
誤嚥	
誤飲	
その他	
未記入	
離設	
異食	
合計	12





⑤ 事故発生・苦情状況と詳細 (6月)

●事故件数 : 21件 ●ヒヤリ件数 : 12件

◎事故の内容 : 車いすより転落 (脱げた靴をとろうとして前かがみになり、そのまま顔より転落した)

◎原因 : 靴がしっかりと履けていなかった

車椅子自操中に靴が脱げている事に職員が気が付かなかった

靴のサイズが合っていない可能性があった (毎度踵を踏んでいたため)

車椅子に浅く座っていた可能性があった

◎対策 : 離床時は必ず靴がしっかりと履けているかを確認する (踵を踏んでいないか)

靴のサイズが合っているか機能訓練指導員に相談 (業者をいれて確認してもらう)

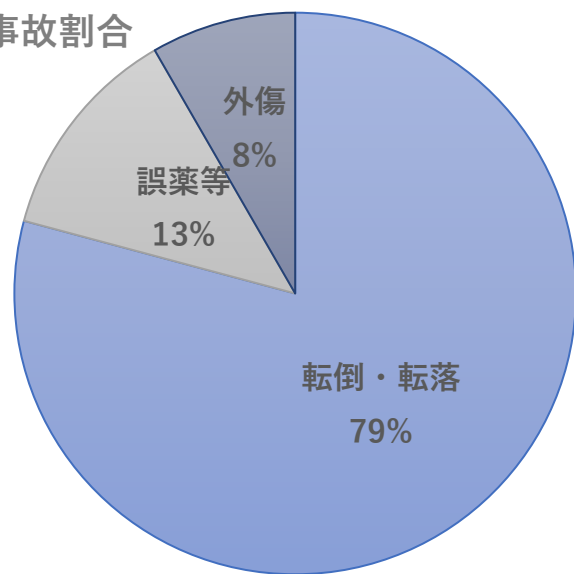
座位姿勢の確認



⑤ 事故発生・苦情状況と詳細 (7月)

事故割合	
内容	件数
転倒・転落	19
落薬	
誤薬等	3
トラブル	
異食	
誤嚥	
外傷	2
器物・物品破損	
その他	
合計	24

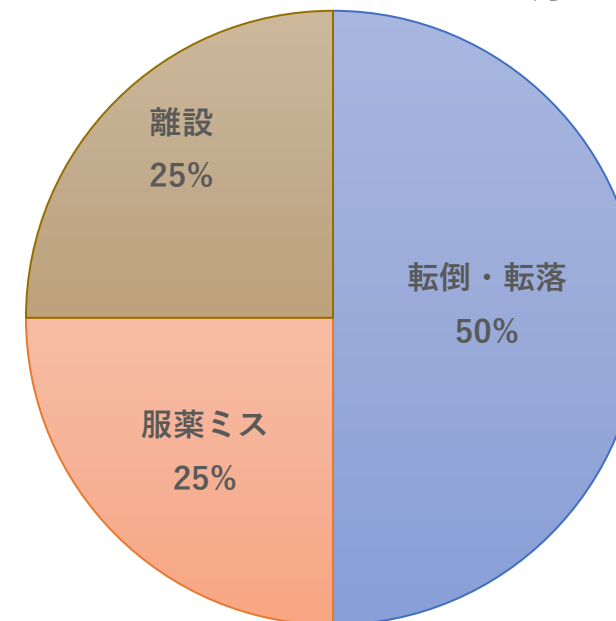
7月 事故割合



- 転倒・転落
- 落薬
- 誤薬等
- トラブル
- 異食
- 誤嚥
- 外傷
- 器物・物品破損
- その他

ヒヤリ割合	
内容	件数
転倒・転落	2
服薬ミス	1
提供ミス	
トラブル	
外傷	
誤嚥	
誤飲	
その他	
未記入	
離設	1
異食	
合計	4

7月 ヒヤリ割合



- 転倒・転落
- 服薬ミス
- 提供ミス
- トラブル
- 外傷
- 誤嚥
- 誤飲
- その他
- 未記入
- 離設
- 異食



⑤ 事故発生・苦情状況と詳細 (7月)

●事故件数 : 24件 ●ヒヤリ件数 : 4件

◎事故の内容 : 新入居者による転落・転倒

◎原 因 : 環境が変わったのでご本人も困惑気味であった。
入居前に面談に行った情報と入居後の身体状況 (ADL) が変わっていた為把握が
しっかりとできていなかった

◎対 策 : スタッフルームからリビングが死角になる為、見守りがしにくい時間帯などは、協力ユニッ
トのリビングで過ごして頂く
安心できるわかりやすい声掛けを心がける

◎苦情：6月13日に面会に来られたご入居者I様のご家族より以下の報告を受けた

<苦情内容>

- ・トイレを支援したあとズボンが上まで上がっていなかった
- ・母が呼んでいるのにスタッフがこないと言っている
- ・「はよせい！」と荒い口調で声掛けをされると母が言っている
- ・どのような対応をしているのか 等

<対応方法>

- ・対象職員より聞き取りをおこなった
- ・聞き取り内容の共有を図った（職員間での支援出来る事、出来ない事の認識にずれがあった）
- ・多職種連携でのケアの見直しを行った

※別紙参照



※別紙 I様のケア見直し表

6月23日にカンファレンス行った（長男様、次女様、三女様）



ケア内容	目標	状況	課題	手順	期間	評価
移動	転倒しないようにする	車いすを使用（23日受診まで）	シルバーカーの車輪を固定しているが、曲がる際操作がしにくい時がある	シルバーカーの車輪を機能訓練指導員に再度評価していただき、使用に問題がないか確認していく 歩行する場合は付き添い、転倒のないように努める	1ヶ月	車いすでの移動をしている。 使用していたシルバーカーは金子PTへ返却済み
整容	爪切りの実施	月に1度程度しか出来ない	確認のタイミングや爪切りを行う頻度の統一	入浴時に爪の確認を行い、スタッフ間で爪切りの必要の有無を共有する（入浴は週に2回あり、行う頻度も増える） 爪切りが行いにくい爪の状態の場合は医務にも依頼が可能	3ヶ月	入浴後、希望時など実施できている。
食事	食事量の維持	お米は7~8割は必ず食べる おかずは3~4ワリ	食事量の維持（食べない時の対応）	お米の進みが悪い場合はおにぎり提供し勧めてみる 現在は減塩食の必要がない為、23日に家族様にも確認し、以降は普通食でお出しする。食事のお供なども家族様に依頼し、お米の進みがどうかなども観察行っていく。	1ヶ月	おにぎりにするが、特に食事量が増える等はない。 ふりかけを使用し、召し上がられる。
排せつ	安全に排せつができる	ポータブルトイレに自分のタイミングで行かれる	排泄のタイミング把握が出来ていない	D-free（尿意お知らせ機のようなもの）の活用 コールを押していただけるようにポップの作成、掲示 スポンの上げ下ろしなどは出来る限り自身でして頂く（職員は見守る） 必要に応じて介助する 眠りスキャンを常にonにし、お知らせスマホを常時持ち運び、必要時は訪室する	3ヶ月	D-freeの活用できず。 ただ、ポータブルトイレで基本的に汚染なく排せつ可能。 泥状便の際は、汚染することがある。
入浴 リフトの検討	安全に跨いで入る	リフトを使用（23日受診まで）	ご本人、骨折部分に負担がかかっている可能性あり	23日の受診まではリフト 受診の結果次第で再検討	1ヶ月	リフトで継続し、入浴している。
お茶（配茶）	ムセがなく こぼさず飲用	ストロー蓋つきのコップで飲んでもらっている	片肘がつき飲まれている時があり、時折こぼされる事がある	飲用時は出来るだけ端座位で飲んで頂く 朝には必ず回収し、中身を入れ替える。日中も訪室時にはお茶の中身の確認を行い、必要時は中身を入れる	3ヶ月	希望時、お茶のおかわりをお渡ししている。 こぼされる事はほぼ無い。
居室環境	痛みなく過ごせることが出来る	臥床時に時折腰や背中からの痛みの申し出がある	臥床姿勢の検討	部屋の家具などの環境は混乱を起こす可能性がある為そのまま様子観察 機能訓練士、医務と相談し、頭部ギャッジの高さや臥床姿勢など、本人が痛くない姿勢を検証し整える	1ヶ月	ベッド環境、フラットでも問題なし。
衣類	サイズの合った衣類を着ていただく	次女様に任せていた	ご本人の希望通りの物がわからない ご本人の希望サイズではウエストが合っていない	次女様で一本化（使用してないものは都度返却） ご持参頂いたものは一度使用（試着等）し本人の希望に沿ったものか確認する	3ヶ月	ご本人様強い希望の為、返却できていない。
ADLアセスメント	定期的を確認する	実施できていない	いつするのか	万が一事故があった際は当日に他職種でカンファレンスを実施しアセスメントと対策を検討する 毎月のユニット会議で見直しを行う 気づきがあれば都度職員同士情報を共有しタイムリーにケア更新を検討する	1ヶ月	ユニット会議にて、話し合っている。
認知機能低下予防	認知機能低下を予防する	昼夜逆転、会話のつじつまが合わない時がある	昼夜逆転傾向にある 独を感じる事が多い の低下 時間の認識がない	カーテンを少しだけ開け、室内に太陽の光を少しだけでも入れる（申し出があったらすぐにしめる） 時間の認識を持ってもらうために引き続き食事前やおやつ前の声掛けは必ず行う コールがあった際など、引き続きコミュニケーションを多く回っていく	3ヶ月	起床時、カーテンを前回にしても問題なく過ごされている。 希望時は、カーテンを閉める対応をしている。 昼夜逆転は解消している。
ナースコール	必要時にならせる	希望時は鳴らしてくれる	排せつ支援でのナースコールがない	コールを押してもらおうようポップで周知、見やすいところに掲示	3ヶ月	ポップを作成したが、設置しなくても必要時コールを押して下さる。 コールがある時は、すぐに対応をしている。



⑥ イベント内容報告



モモユニット：家族会（天ぷら）

7月5日（土）11時00分～



ご家族の感想

- ・父、母とまた一緒に食事ができるとは思っていなかった
- ・イベントと一緒に参加できたことが良かった
- ・家族同士で話をするいい機会になった
- ・通信に写っている写真がいつもいい写真だから嬉しかった

職員の感想

- ・準備は大変だったが、ご入居者もご家族も楽しそうにされていたのが印象的だった
- ・家族会もレクリエーションも和気あいあいとできた。普段している口腔体操などもご家族と一緒に出来たので良かったと思う





⑥ イベント内容報告

アジサイユニット：家族会（パフェづくり）

7月19日（土）13時30分～



ご家族の感想

- ・楽しそうにしている母を見ることが出来て嬉しかった。
- ・一緒に何かをする機会がもうないと思っていたのでありがたかった。

職員の感想

- ・ご家族と共同の作業だったのでご家族もご本人も楽しそうだった。
- ・良い笑顔でご家族が帰られていたよと他のフロアの職員から聞いて嬉しかった





⑥ イベント内容報告

月が丘の夏祭り (7月26日)





⑥ イベント内容報告



● 沖縄エイサー (6月13日) ボランティア団体名：海風





⑦ 研修・委員会活動

事故リスクマネジメント委員会

ブルーコールに関する研修（7月22日、7月28日、7月30日の3日間）

研修内容 ※緊急対応研修

- ・ブルーコール放送手順の確認
- ・ブルーコール発砲時の職員の動きの確認

<外部研修>

- ・ユニットリーダー研修
- ・リスクマネジメント研修
- ・認知症実践者研修

その他

介護保険外サービス費用について

居住費 : 2,085円

食費 : 朝食 (410円)、昼食 (600円)、夕食 (640円) ※おやつ代別途50円

【理美容】

事業者名 : 訪問理美容 BLOOM

カット費用 : 2,200円 (税込)

実施日 : 第2木曜日 (毎月)

事業者名 : 訪問理美容 ヤング

カット費用 : 2,000円 (税込)

実施日 : 第3金曜日 (毎月)

まほろばパン 毎週金曜日 15:15~

令和7年度 第3回
運営推進会議
デイサービスセンターさくらさく

令和7年8月21日（木）

事業所運営に係るご報告

1.利用状況

※8月現在

登録者数（人）	28（男性10 女性18）
平均介護度	2.0
平均年齢（歳）	83

2. ご利用者概要

1) 地区別実利用者人員状況

地区名	男	女	計
月が丘	1	2	3
美穂が丘	0	2	2
桜が丘	0	3	3
秋葉台	1	0	1
押部谷	3	7	10
北山台	1	2	3
富士見ヶ丘	1	2	3
狩場台	1	0	1
学園東	1	0	1
井吹台	1	0	1
計	10	18	28

2) 回数別利用人員

	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回	週6回	計
認知症	3	13	7	3	1	0	27
認知症(予防)	0	1	0	0	0	0	1

3) 要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	変更申請中	計
認知症	0	1	13	2	8	2	0	2	28

3. 稼働率

令和6年度（目標75%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 平均
総利用 人数	248	266	260	282	294	276	299	282	256	266	260	229	3218
月間 稼働率	79.5%	82.1%	86.7%	87.0%	90.7%	92.0%	92.3%	90.4%	88.9%	92.4%	90.0%	73.4%	87.1%

令和7年度（目標75%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 平均
総利用 人数	278	305	281	300									1164
月間 稼働率	89.1%	94.1%	93.7%	92.6%									92.4%

4. 事故の発生・苦情状況と詳細

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故	2	1	0	1									
苦情	0	0	0	0									
ヒヤリハット	1	0	2	1									
合計	3	0	2	1									

ヒヤリハット

歩行不安定な状態の利用者が椅子から立ち上がり、そのまま歩こうとされていた。

事故

職員が椅子を動かしたときに利用者の手の甲を挟み1センチの内出血となった

(原因) レクリエーションの準備のため、椅子を動かす際に利用者の手元を注意していなかった。

(対策) 椅子を動かす際は、周囲や利用者の手的位置など危険がないか十分に注意して行う。
動かす際に声掛けを必ず行う。

5. イベントと活動内容報告

おやつ作り



全員でボール運び



誕生日会



野菜の収穫



うちわ作り



6. 認知症カフェの開催 ・ 地域活動

さくらCafé

6月27日（金）

第3回「運動不足について・体力測定」
月が丘福祉センター（17名参加）

7月25日（金）

第4回「さくら運動会」（12名参加）

介護の相談やフレイル予防体操、体組成計測定
焙煎コーヒーの提供



櫻ホーム西神・デイサービスセンターさくらさく
居宅介護支援事業所さくらさく

さくらCafé

さくら運動会

一緒に体を動かかしリフレッシュしましょう

さくらCaféは、地域の人など、誰もが気軽に参加できる「集いの場」です。
また、医療や介護の専門職に相談ができ、地域の人との交流の場になっています。気軽にお越しください。

日時 令和7年 7月25日 13:30~15:00
場所 櫻ホーム西神 4階 多目的室
対象 介護に関心のある方・介護の悩みをお持ちの方など
どなたでも自由に参加できます
※参加ご希望の方は、下記へご連絡ください。

【お申込】特別養護老人ホーム櫻ホーム西神
神戸市西区月が丘1丁目41番12号（神戸電鉄栄駅 徒歩約7分）
Tel:078-994-3220 Fax:078-995-7146(FAX)担当:金子

櫻ホーム西神・デイサービスセンターさくらさく
居宅介護支援事業所さくらさく

さくらCafé

熱中症対策

8月のさくらCaféでは、「熱中症対策」についてのミニ講座を行います。連日の猛暑が続いていますが、正しい知識と備えて、元気に夏を過ごしましょう。熱中症予防に効果的な食べ物や飲み物についてもご紹介します。水分・塩分のとり方、夏にぴったりの簡単メニューなど、日々の食事に役立つ情報などもお届けします。

日時 令和7年 8月22日(金) 13:30~15:00
場所 櫻ホーム西神 4階 多目的室
対象 介護に関心、悩みをお持ちの方など
どなたでも自由に参加できます
※参加ご希望の方は、下記へご連絡ください。

【お申込】特別養護老人ホーム櫻ホーム西神
神戸市西区月が丘1丁目41番12号（神戸電鉄栄駅 徒歩約7分）
Tel:078-994-3220 Fax:078-995-7146(FAX)担当:金子

その他

介護保険外サービス費用について

食費　：昼食（650円） ※おやつ代50円込み
夕食（640円） ※希望者のみ

<理美容>

事業者名：訪問理美容 BLOOM
カット費用：2,200円（税込み）
実施日：第2木曜日（毎月）

事業者名：訪問理美容 ヤング
カット費用：2000円（税込み）
実施日：第3金曜日（毎月）

<まほろばパン>

実施日：毎週金曜日 15時～

今後の開催予定（運営推進会議）

場所：櫻木一ム西神 多目的室 時間：10:00～11:00		
令和7年度	4月	17日
	6月	19日
	8月	21日
	10月	16日
	12月	18日
	2月	19日